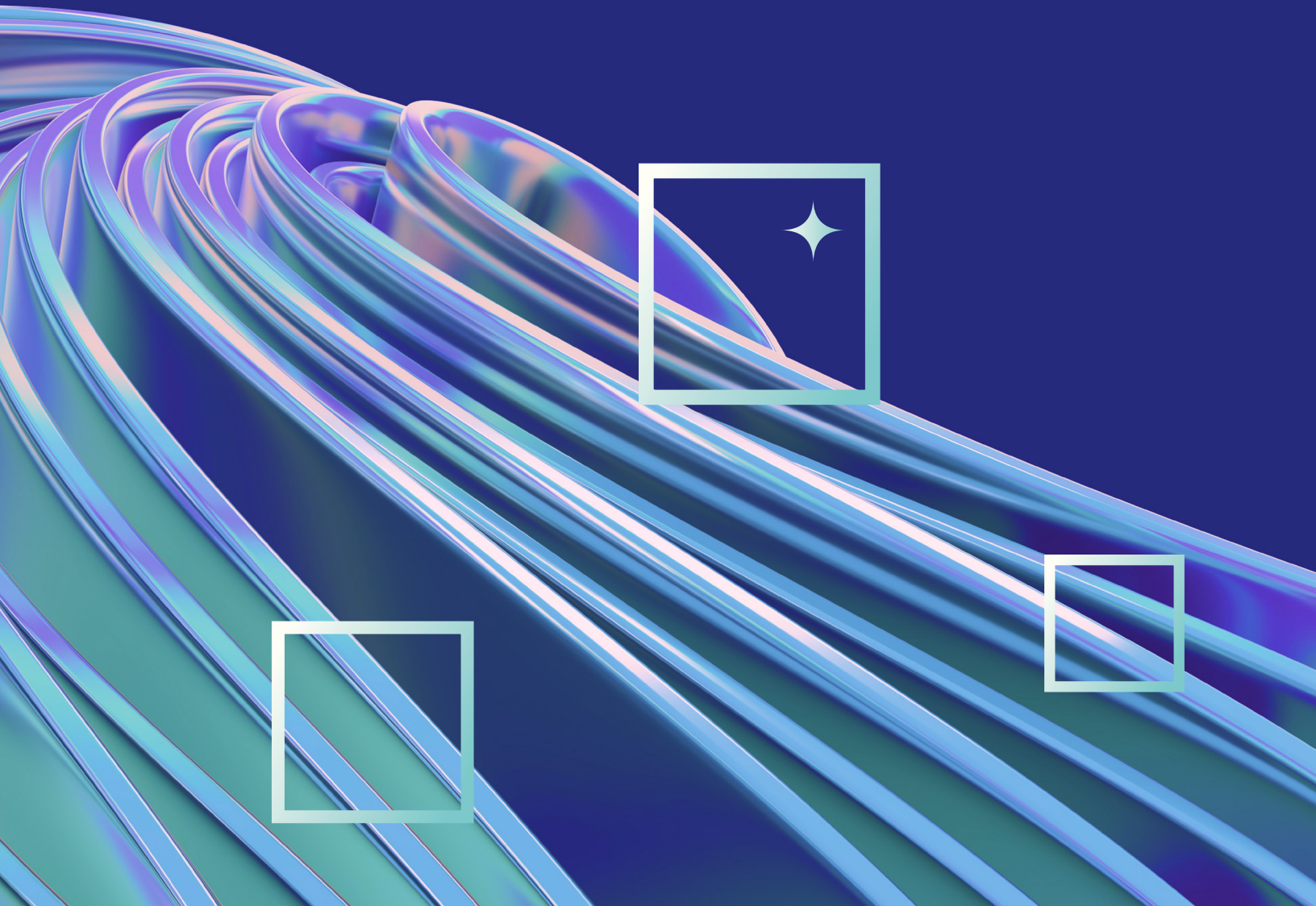




AI Unwrapped

2025年インパクトレポート

今すぐ、AI実装の最新動向からインサイト入手

概要

コードを配布するだけでは、戦いの半分しか終わっていません。堅牢なオブザーバビリティ（システムの動作をリアルタイムかつ正確に示す包括的なログ、メトリクス、トレース、イベント）がなければ、どんなに優れたアプリケーションであっても、大規模になると不透明で信頼性の低いブラックボックスになってしまいます。人工知能（AI）が、憶測的な存在から企業の基盤技術へと移行するにつれ、私たちは同様の重要な教訓を目の当たりにしています。

AIの導入はかつてないペースで加速しており、組織におけるAI活用のパターンも同様の速さで進化しています。New Relicは今回初めて、集計された利用データを公開します。このデータは、開発者の行動がAIランドスケープをいかに迅速かつ継続的に再形成しているか、そしてAI監視がいかにオプションから不可欠なものへと変化したかを示す、最前線からの視点を提供します。

New Relicのデータによると、顧客や開発者はGPT-4oのような最新バージョンに急速に移行しており、より低価格の代替品が存在するにも関わらず、ChatGPTがプロンプト全体の使用率をほぼ独占していることが観察されています。同時に、GPTで使用するためのカスタムモデルを作成する開発者が急増しており、今後、より多くのチームがニッチなツールを選択し、AIを特定のニーズに合わせてカスタマイズし始める可能性を示唆しています。

これらの傾向は、AIが実験段階から運用段階へと急速に移行しているという、根本的な転換点を示しています。このようなダイナミックな環境では、基本的なモニタリング以上のものが求められます。これは、New RelicのAI監視ソリューションが継続的に成長している理由でもあります。こうした傾向が続くにつれ、AI監視が開発者、インフラチーム、CTOにとって、技術的な俊敏性と運用のレジリエンスを実現する中核的な要素となっていることが明らかになっています。

ChatGPTの導入が急増するにつれて、
プロンプト全体での利用が主流と
なっています



圧倒的なシェアを占めるChatGPT

開発者はAIモデルの実験と特化において、非常に力強い成長を推進しています。New Relicは、直近の四半期にAIアプリ全体で使用されている独自の大規模言語モデルの数が **92%増加したことを確認しました。**

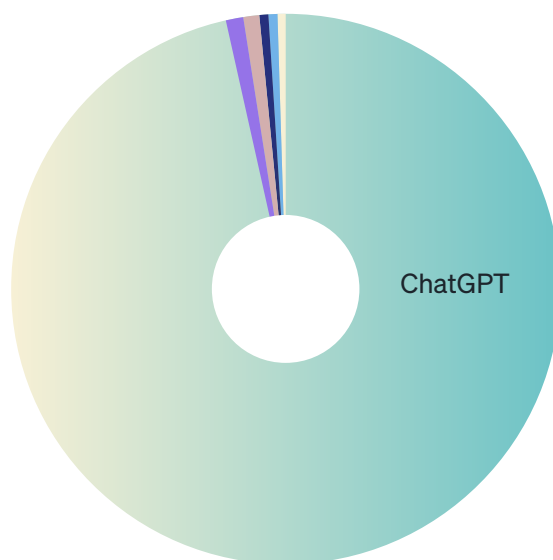
具体的には、開発者はOpenAIのChatGPTを筆頭に、最大規模のLLMを採用しています。ChatGPTは、New Relicの顧客が処理したLLMトークンの86%以上を占め、MetaのLlamaが2位となっています。この大きなシェアは、開発者が使いやすさ、信頼性、最小限のセットアップやチューニングで得られる最高レベルのパフォーマンスを重視していることを強く示唆しています。現時点では、組織は代替手段の構築や微調整に時間を費やすよりも、エンタープライズ対応モデルを使用して迅速に導入したいと考えていると結論付けるのが妥当です。

ChatGPTのモデルが主流であっても、オブザーバビリティは必須です。チームは、コスト効率、最適なパフォーマンス、信頼性を確保するために、使用状況を追跡し、パフォーマンスをベンチマークし、異常を検出する必要があります。

一般的に、多くの組織はAI導入の初期段階にあるため、その多くが汎用モデルに依存するのも当然です。しかし、データによると、開発者はドメイン固有やタスク固有のものなど、さまざまなモデルを小規模ながらもテストしていることがわかります。チームや組織がより洗練されるにつれて、パフォーマンスの最大化、コスト管理、ガバナンスやコンプライアンスの確保、マルチモデル環境への対応を実現するための高度なAI監視の必要性は、今後数年間で大幅に高まると予想されます。

>86%

New Relicの顧客が
ChatGPTを使用して処理した
LLMトークン



LLMトークン消費量に基づく
最も人気のあるモデル

- ChatGPT
- Meta Llama
- Ada
- TheDrummer/Unslop
- Anthropic Magnum
- Anthropic

開発者の急速な移行

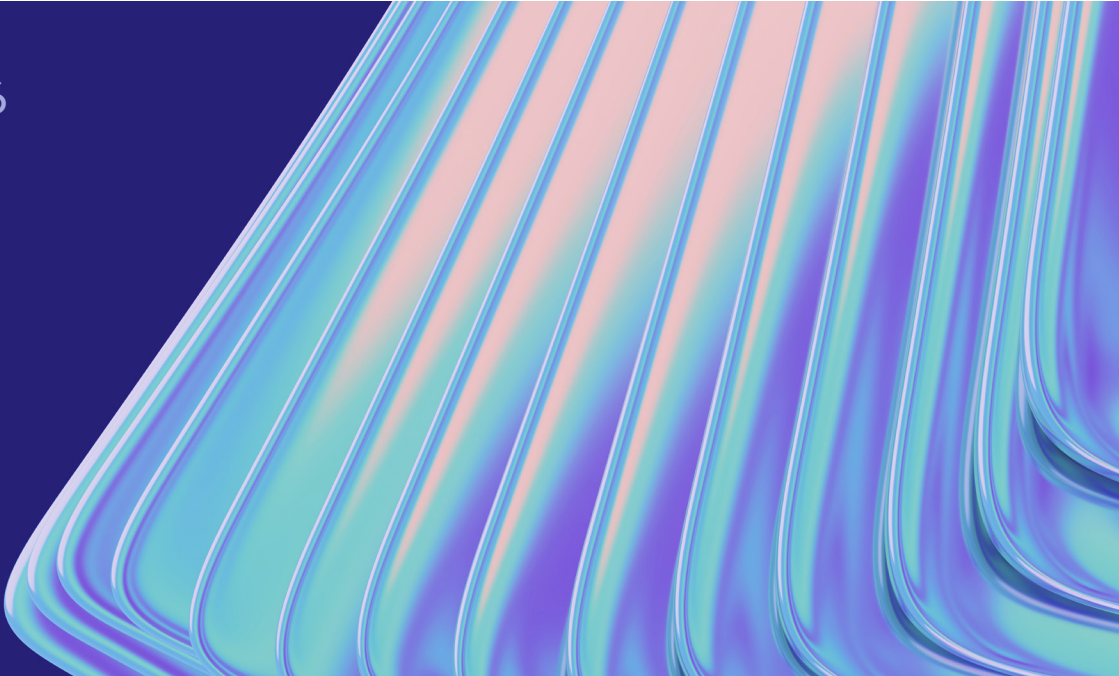
AIイノベーションのペースが加速するにつれ、開発者の行動は流動的になりつつあり、モデルバージョンの切り替えが急速に行われています。ChatGPT-4oが最近ではより主流となっており、ChatGPT-4o miniがそれに続いています。ChatGPT-4o miniがChatGPT-4oよりも安価であることを考えると、少なくとも現時点では、開発者はコスト削減よりも最先端のパフォーマンスと機能（例：マルチモーダル機能の向上、低レイテンシ）を重視している可能性があります。ユーザーが時間の経過とともにコストの最適化を始めるかどうかは、注目に値します。

ChatGPTのバージョン間の切り替えは、一夜にして起こっているように見える場合もあります。たとえば、New Relicユーザーは、4月に発表されて以来、ChatGPT-3.5 TurboからChatGPT-4.1 miniへと急速に移行しています。企業が競争力を維持するために、OpenAIの最新のイノベーションを注視していることは明らかです。

この急速に変化する環境において、組織は、特にOpenAIが時間の経過とともに各モデルの増分バージョンとアップデートをリリースするにつれて、進化し続けるAIスタックに対応するAI監視を必要とします。開発チームは、コスト、信頼性、コンプライアンスへの対応を怠ることなく、可視性を高めるために新しいモデルを評価する必要があります。

ChatGPTのバージョン間の切り替えは、一夜にして起こっているようです。

組織には、進化し続ける
AIスタックに対応できる
AI監視が必要です



AI監視の急増

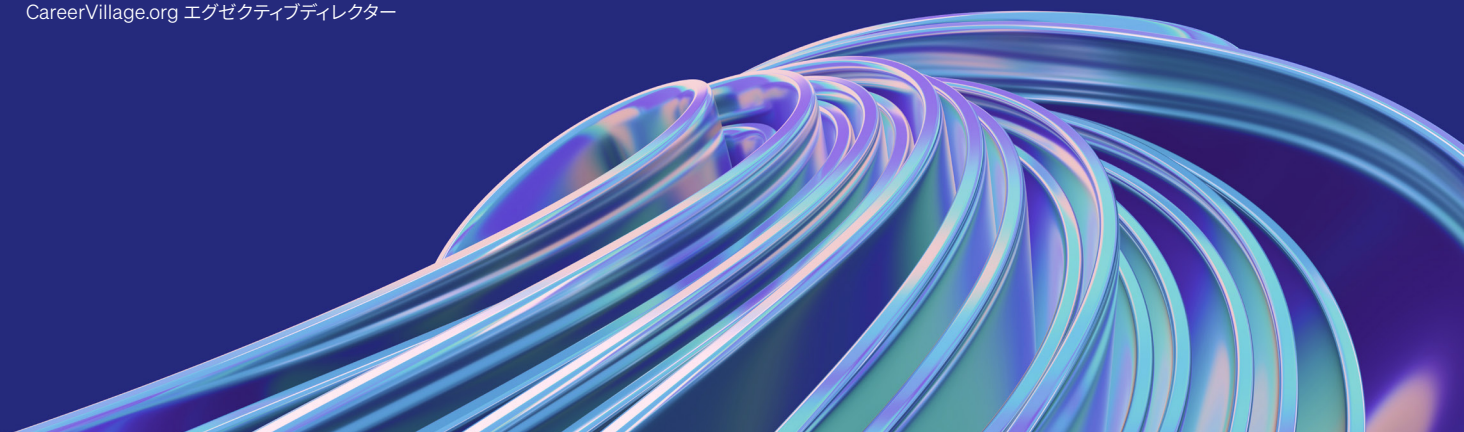
昨年のリリース以来、AIモデルの信頼性、精度、コンプライアンス、コスト効率を確保するために、多くの企業が New Relic AI Monitoring を導入しています。New Relic AI Monitoringの利用は、過去12か月間で四半期ごとに30%増加し、着実な成長を遂げています。

New Relicの2024年オブザーバビリティ予測によると、AIの急速な導入が、企業がAI監視ソリューションを導入する主な動機となっています。AIが実験段階から運用段階へと移行するにつれ、企業は新たな監視課題に直面します。この進化には、大規模な言語モデルにとどまらない包括的なAIオブザーバビリティ関連機能が必要です。オブザーバビリティシステムは、AI関連テクノロジーのエコシステム全体を網羅し、既存の運用インフラストラクチャにシームレスに統合される必要があります。

一方、一部の企業は堅牢なAI監視ソリューションを導入せずにAIモデルを使用しており、信頼性、応答精度、セキュリティ、コスト急増など、大きなリスクにさらされています。適切な監視のないAIは、ログのないソフトウェアを導入するようなものです。組織はパフォーマンスの問題に気づかず、障害に対して脆弱であり、AIガバナンスへの十分な準備ができていません。これはAIイノベーションのペースを鈍らせ、AIの拡張に対する信頼を損なう可能性があります。組織は、セットアップと設定が容易で、DevOps担当者から経営幹部まで、あらゆるユーザーに直感的なエクスペリエンスを提供する統合AI監視ソリューションを必要としています。

「新しいAIツールはNew Relicにも接続し、アップタイム、パフォーマンス、レスポンスタイムを監視しています。これにより、開発者はユーザーにとって重要な製品機能に集中できるため、コスト削減につながります」

Jared Chung 氏
CareerVillage.org エグゼクティブディレクター



圧倒的に優勢なPython

お客様はNew Relicを使用してAIアプリケーションを監視しています。これらのアプリケーションのうち、AIアプリケーションでは、リクエストの規模と顧客導入率の両方の点でPythonが引き続き優位を占め、次にNode.jsが続いています。Pythonの顧客導入率は、前四半期から45%近く増加しました。

AIが企業の業務に深く組み込まれるようになると、AIアプリケーション向けのプログラミング言語の範囲が必然的に拡大します。この多様化は、企業がAIをレガシーシステム（多くの場合JavaやC#などの言語で構築）に統合し、特定のパフォーマンスとスケーラビリティの要求に対応し（C++、Go、Rustの採用を促進）、クラウドからエッジデバイスまで、さまざまな環境にAIを導入する必要性から生じる当然の結果です。

増加するJava使用量

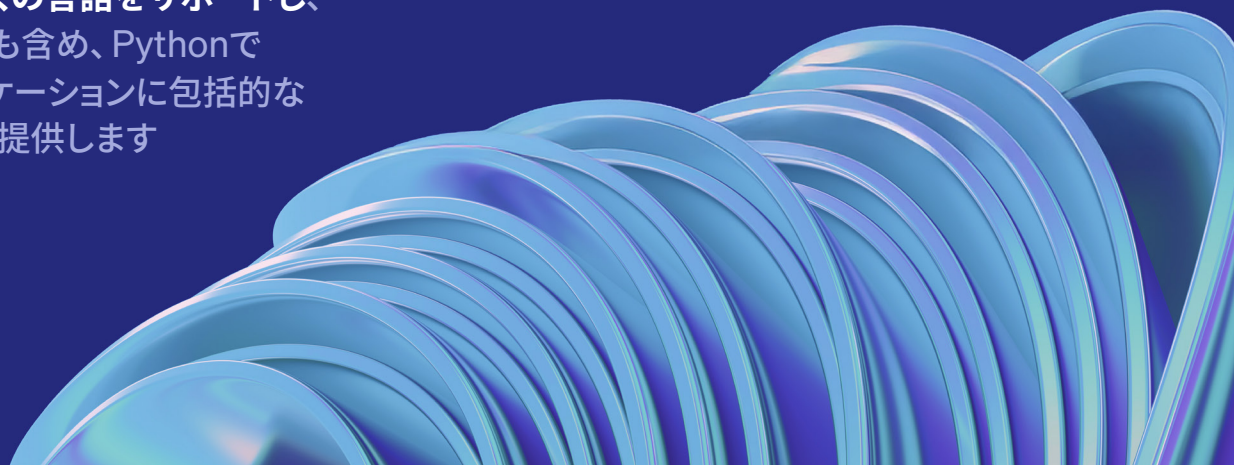
実際、New Relicは、Java使用量が前四半期から34%と急激に増加していることを確認しました。New Relicは、この傾向は注目に値するものであり、大企業から本番環境レベルのJavaベースのLLMアプリケーションが今後より多く生まれる兆候であると考えています。

サポートやツールも充実しているPythonが最も有勢で、導入と利用においてリードしていることは当然のことです。しかし、New Relicは、他の言語のツールも成熟を続け、時間の経過とともに普及が進むと考えています。だからこそ、New Relicは最も多くの言語をサポートし、LLMを使用するものも含め、Pythonで構築されたAIアプリケーションに包括的なオブザーバビリティを提供しています。

34%

前四半期からの
Java使用量の増加

New Relicは最も多くの言語をサポートし、LLMを使用するものも含め、Pythonで構築されたAIアプリケーションに包括的なオブザーバビリティを提供します



方法論

このレポートは、2024年4月30日から2025年4月30日の間に、85,000のアクティブなNew Relicの顧客アカウントから収集された集計および匿名化された使用状況データに基づいています。

New Relicについて

New Relicのインテリジェントオブザーバビリティプラットフォームは、企業がデジタルエクスペリエンスにおける断絶を解消できるように支援します。New Relicは、テレメトリデータを統合およびペアリングすることで、デジタル資産全体を明瞭なものとする、AIで強化された唯一のプラットフォームです。当社は、適切なデータを適切なタイミングで処理して価値を最大化し、コストを管理して、お客様の問題解決をプロアクティブからプレディクティブ（予測可能なもの）へと移行します。だからこそ、世界中の企業（Adidas Runtastic、Domino's、GoTo Group、Ryanair、Topgolf、William Hillなど）がNew Relicを利用してイノベーションを推進し、信頼性を向上させ、優れた顧客体験を提供して成長に向けて邁進しています。

New Relic AI Monitoringの詳細

